

新規製品開発時の発想支援ツールの提案

辻脇 優一

yuichi.tsujiwaki@gmail.com

開発における問題点

新規製品を開発する時には、既存の製品に対し、新しい価値を付加する必要がある、製品における価値とは、顧客のゴールを達成することであり、製品とはそのゴールを満たす手段である。筆者の所属するチームでは、現状そのような新しい価値のアイディアは、開発者の閃きや発想に頼っており、コンスタントに生み出すことができていない。

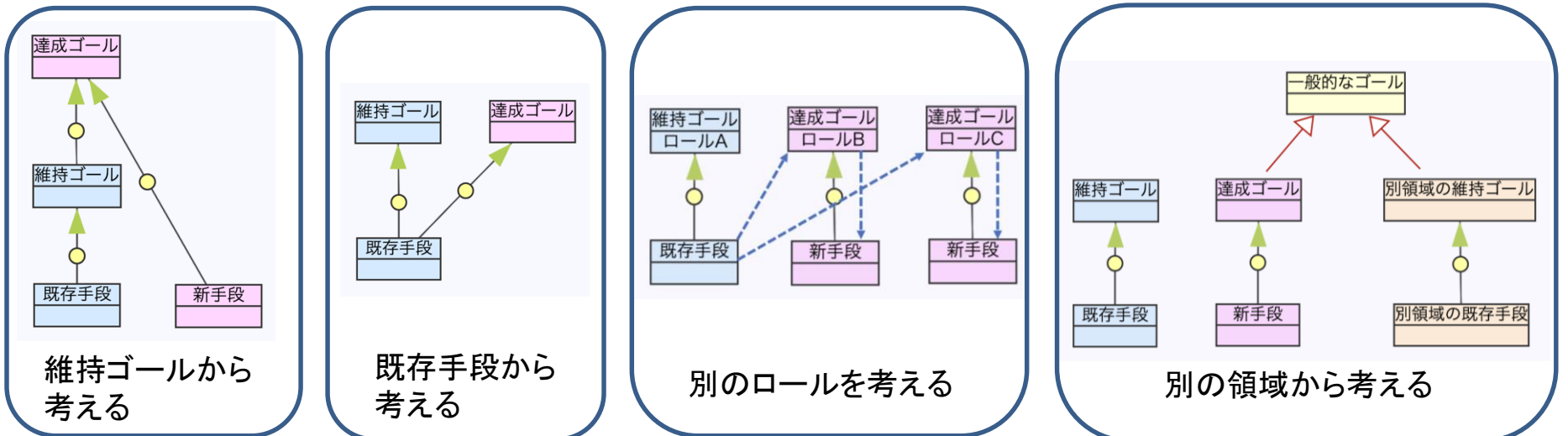
手法・ツールの適用による解決

経験的な知見に基づいて作られた独自の発想支援手法に対し、目的・手段の関係などの表現方法を洗練すべくKAOS法との融合を試みた。実際の新製品開発のアイディアを本手法に適用した結果、新たな発想の構造を可視化することができた。本手法の発想支援ツールも開発し、実務へ適用する際の課題を明らかにした。

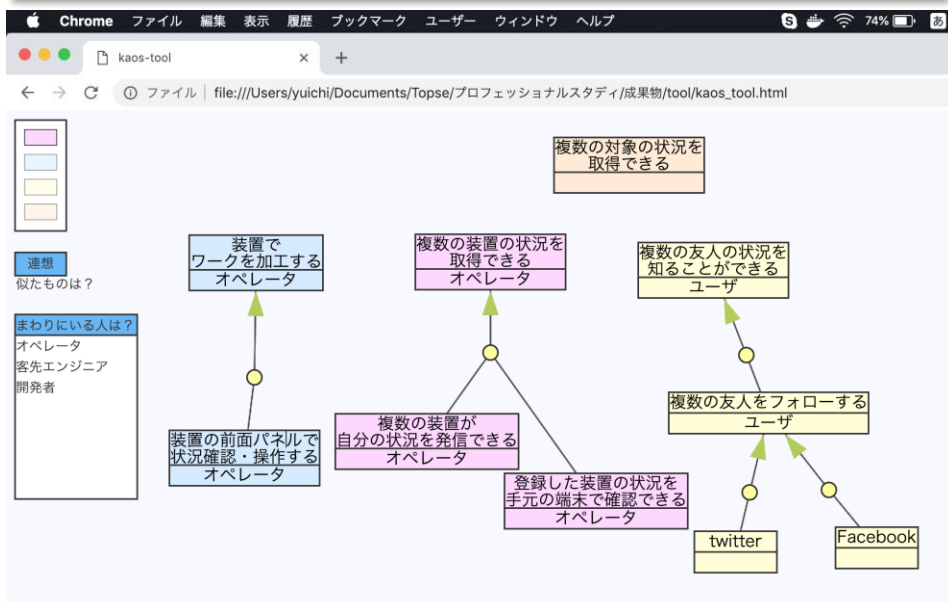
課題解決するためのアプローチ

(既存の)手法+KAOS+ペルソナ

価値を創造するためには達成ゴールを定義しなければならない
達成ゴールを考えるための考え方を提供することが必要



ツールの開発と例題への適用



現場へ適用する際の課題

- ツールを使うということへの心理的ハードルへの対処
- 実際に効果があるのかという疑念の解消

課題解決への取り組み

- 紙とポストイットを用いて、本手法の考え方の枠組みを導入
- 4つのアイディアで多様なステークホルダの価値を導出するために
- 簡単な質問を用意→思考支援